

第32期

—2014—

Business  
Report

2014.1.1-2014.12.31

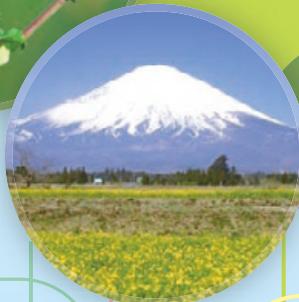
株主

通信



人と科学のステキな未来へ

コスモ・バイオ株式会社



Inspiration for Life Science

老化を加速させる「糖化」  
～「抗糖化」・「抗老化」に向けた研究～

特集

世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社



# 信頼され、 選ばれる会社を目指して

ライフサイエンス研究は未知との出会いであり、その知見の活用は留まるところがありません。研究成果は着実に私たちの生活に役立ってきています。その研究を推進させるため、私たちは、研究者の良きパートナーとして“専門商社としての基本”を大切にしつつ、研究者に満足いただける取り組みを追求し続けています。信頼され選ばれる会社の実現のために。

豊富な商品群

確かな情報サービス

研究者の  
ベスト  
パートナー

信頼できる相談相手

迅速な物流サービス

## トップインタビュー

**Q** 当期の連結業績は  
いかがでしたか？

**A** 売上高は増収基調を回復したものの、利益面では  
円安傾向の影響を受け減益となりました。

事業環境は、厳しさを増しております。顧客先である大学  
や公的研究機関では慎重な予算執行傾向が続いており、全  
体的に活発さに欠ける状況で推移しました。加えて、同業他  
社との販売競争も激化しております。

こうした状況のなかで当社は、前期の業績悪化を取り戻  
すべく、“専門商社”の基本として“お客様目線”に徹した顧  
客満足度向上・信頼度向上に徹的に取り組み、ニーズの  
高い商品に関する情報の充実や納期の改善等に積極的に  
取り組みました。その結果、売上高については、抗体や細胞・  
培養関連の試薬を中心に伸長させることができ、前期比  
2.6%の増収となりました。

しかしながら、利益面では、増収以上に為替の円安傾向が  
打撃となり販売原価を押し上げ、大幅な減益を余儀なくさ  
れました。期中平均為替レートは、前期の96円/ドルから当  
期は106円/ドルと大幅な円安進行となりました。

### ▶ 2014年12月期の連結業績

(単位:百万円)

	前期 実績	当期		前期比 増減	修正予想比 増減
		修正予想 (8月7日公表)	実績		
売上高	7,050	7,300	7,235	+2.6%	-0.9%
営業利益	271	260	162	-40.2%	-37.6%
経常利益	444	410	285	-35.8%	-30.4%
当期純利益	313	265	201	-35.6%	-23.9%

**Q** 今後の事業環境を  
どのようにお考えですか？

**A** 厳しい環境は続きますが、ライフサイエンス研究は  
中長期的に活発な活動が期待されます。

2015年度の政府科学研究予算はほぼ前年並みで、しば  
らくは慎重な予算執行が続くことが予想されます。また、為替  
もさらに円安傾向が進むと予想され、2015年12月期は期  
中平均120円/ドルを想定しております。

こうした厳しい事業環境ではありますが、ライフサイエンス  
研究は、今後も国内外において活発な活動が期待される状  
況に変わりはありません。特に日本では、iPS細胞等の幹細胞  
を利用した再生医療研究、脳神経科学研究、がん研究など最  
先端医療分野で多数の研究が行わ  
れており、これらを後押しする機関と  
して日本版NIH(\*)と呼ばれる日本医  
療研究開発機構 (AMED) の設立も  
2015年4月に予定されています。

\*日本版NIH:米国の国立衛生研究所  
(National Institutes of Health)  
に倣って、日本の医療分野における  
研究開発の司令塔機能を創設するこ  
うな構想。日本の成長戦略の目玉の  
ひとつ。

代表取締役社長  
笠松 敏明

## トップインタビュー

**Q** 今後の経営において重視するポイントは何でしょうか？

**A** 「利益確保」をより強く意識した経営を推し進めていかなければならないと考えています。

販売競争の激化は価格競争を巻き起こし、以前に比べて利益確保が難しい状況になっています。今後は、「利益確保」をより強く意識した経営を推し進めていかなければならないと考えています。

社員一人ひとりが常に「利益」を意識し、合理的かつ効率的な業務推進に心がけ、また、どのような商品や受託サービスをどのようにお勧めし、お客様が求める納期で提供していくのかを追求していきます。

また、当面は為替が円安基調で推移することが見込まれることから、これまで見送っていた価格改定について、お客様のご理解をいただきながら実施に踏み切る予定です。

**Q** 具体的には、どのような施策を展開していきますか？

**A** 付加価値の高い商材の増強や販売体制の強化、代理店とのリレーション強化などを図っていきます。

1点目として、より付加価値の高い商材を増やすことで利益率の改善を目指します。価格競争に陥りにくい、特徴ある商品の導入に加え、老化や糖化、生活習慣病やがんなど、注目の集まる研究分野を見定めながら、自社製品の開発をさらに推し進めていきます。また、解析サービス等の受託サービス商品項目の拡大にも注力しており、今後も着実に売上を伸ばしていく予定です。

2点目として、研究者や代理店との接点を少しでも増やす営業活動を推し進めるとともに、研究者ニーズに対応する専属部署を充実させて、新規顧客開拓のパワーアップを図っていきます。

さらに、膨大な商品・受託サービス情報を迅速かつ効率的にお客様にお届けし続けるために、システム面でも競争力の

Pick up

### コスモ・バイオのメーカー機能強化を図る プライマリーセル事業部

自社製品開発・製造のさらなる強化を図るため、2013年、初代培養細胞の研究開発などを行う子会社の株式会社プライマリーセルを吸収合併。現在、当社の開発・製造部門「プライマリーセル事業部」として運営しています。

近年では、初代培養細胞製品に加え、老化、糖化や腸内フローラなど広くニーズに対応した自社製品・受託サービスの開発、さらには大学等との共同研究も積極的に行っています。



#### プライマリーセル事業部

※2013年より一体運用開始

コスモ・バイオにおける製品製造・開発部門を担うことで…

1

研究・開発・製造機能の一体化により、**自社製品**のさらなる拡大を図る。

2

独自の製品・受託サービスを推進することで、**収益向上**を図る。

高い基幹システムへの刷新を決定し、2016年1月の稼働を目指して準備を進めています。

## A 海外ビジネスも順調に動き始めており、拡大戦略を推し進めています。

また、当期は海外ビジネスも順調に推移し、米・欧・アジアのすべての地域で前期実績を上回る業績を上げることができました。約30社まで増やしてきた海外代理店への働きかけの強化が、世界各地における「COSMO BIO」ブランドへの



ジャカルタでのセミナー開催

海外版  
総合カタログ

の認知・理解、さらに信頼・安心を高める成果として表れてきたものと考えています。今後も引き続き、海外向けカタログ等による商品情報の共有、代理店との同行営業や共同での展示会への出展などに積極的に取り組んでいきます。

## Q 最後に、今後の展望をお聞かせください。

## A 中期的な目標である「成長と信頼の研究支援会社の実現」を目指していきます。

2014年は、“専門商社”としてのビジネスの根幹の再強化・再構築を目指し、その入り口として「顧客満足度アンケート調査」を研究者と代理店に対して実施しました。その結果、当社がこれまで行ってきたさまざまな施策は、お客様のニーズと大きなずれはなかったことを再確認できましたが、同時に取り組むべきさまざまな課題も見つかりました。“お客様のニーズに合致した施策とは何か”を常に考えながら、同時に企業価値最大化を目指す取り組みとして“利益ある成長”を追求してまいります。

今後も厳しい事業環境下での経営が続くことが予想されますが、株主の皆様にはでき得る限り持続的な配当を目指してまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 自社製品 紹介

### 電気泳動用装置

## i-MyRun II (あいみらん2)

生化学分野において、電気泳動実験は、タンパク質やDNAなどを分離・分析する手段として古くから用いられている手法です。当社では、「i-MyRun 電気泳動シリーズ」を開発し、電気泳動実験の分野を支えてきました。そしてこのたび、さらに多くの研究者のニーズに応えるため、利便性を向上させた新製品「i-MyRun II」を2014年11月より販売開始いたしました。

### 従来機に比べ…

性能が向上

操作性が向上

より安全性を配慮

海外展開に向け、  
安全規格に適合



i-MyRun II



# 特集：老化を加速させる「糖化」～「抗糖化」・「抗老化」に向けた研究～

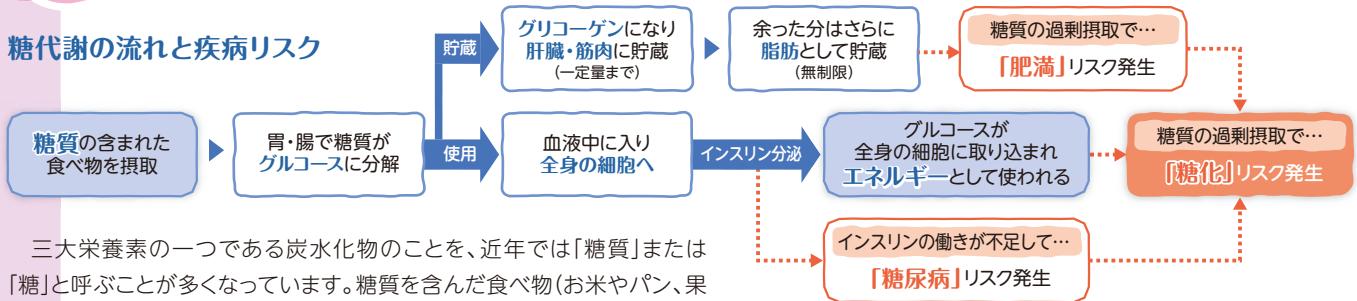
## 近年、「糖化」が老化の主要因のひとつであることが分かってきました。

そもそも「糖」は私たちが生きていくための大事なエネルギー源。「糖」が無ければ脳もからだも動きません。でも、摂り過ぎた余分な糖はからだのあちこちで悪さをします。生きていく上で必要不可欠である糖がもう一方では老化の主要因になっているのです。私たちのからだの中で、いったい何が起きているのでしょうか？



そもそも、糖はからだの中でどんなふうに使われるの？

### 糖代謝の流れと疾病リスク



三大栄養素の一つである炭水化物のことを、近年では「糖質」または「糖」と呼ぶことが多くなっています。糖質を含んだ食べ物（お米やパン、果物など）や砂糖を使用した食品を摂取することで、私たちはエネルギーとして使用したり、貯蔵したりします。でも、摂り過ぎは、生活習慣病を引き起こしたり、糖化促進リスクを高めたりします。

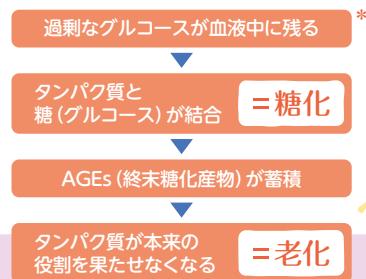
注：「糖化」のメカニズムは一樣ではありません。糖代謝の流れの中で、糖質の過剰摂取等によって肥満や糖尿病などの生活習慣病になると、これが「糖化」を促進させる要因ともなります。



「糖化」って何？ からだに悪いことなの？

「糖化」とは、タンパク質と糖の結合によっておこる反応で、これによりタンパク質が変性してAGEsという物質ができます。この糖化は体内でも起こっていて、糖化によって蓄積する体内のAGEsが老化を進める物質であることがわかってきました。私たちのからだは、約70%の水分を除くと、その3分の2程度がタンパク質できていますから、からだのあちこちで糖化が起こりAGEsの蓄積を招く可能性があります。そして、AGEsが体内のさまざまな場所に蓄積すると、やがてタンパク質が本来の役割を果たせなくなり、これが多くの疾病の要因となる、ということが最近の研究で次々と明らかになっています。

### 糖代謝の過程で糖化が起こるしくみ



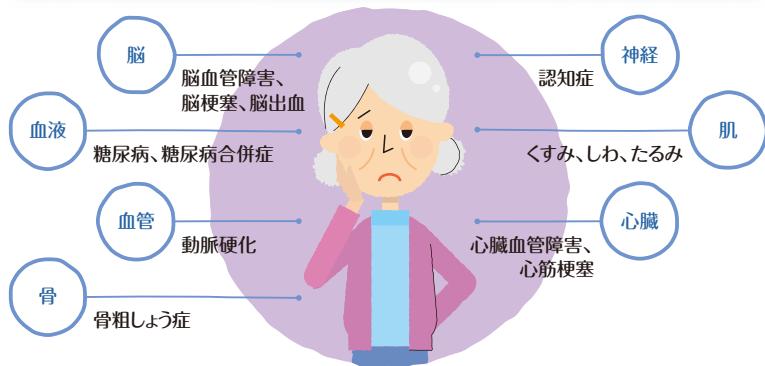
体内の  
いろんな所に蓄積して  
老化を引き起こし  
全身の健康に  
影響を及ぼす！

\* このほか、酸化ストレスや炎症によっても糖化が起こり、AGEsが作られます。



## 「糖化」でAGEsがたまると、どうなるの？

AGEs (終末糖化産物) は、からだにこんな影響を与えている



## AGEsは「バイオマーカー」\* としても使用が注目され、 研究が進んでいます。

AGEsが疾病に関係しているということは、体内のAGEsの量を調べれば疾患の有無や状態が調べられるということ。糖尿病合併症や加齢現象のバイオマーカーとしての可能性が研究されています。

バイオマーカー  
としての使用が注目  
されている主な疾患

- 腎不全
- 骨疾患
- 関節リウマチ
- 皮膚疾患
- アルツハイマー病
- 神経変性疾患
- 統合失調症 など

### \*「バイオマーカー」って何？

からだの状態を客観的に測定・評価するための指標。疾患の診断、疾病の経過の予測、特定の治療効果の予測、薬剤の作用診断など、さまざまな目的に対応した指標がある。たとえば、血糖値やコレステロール値は生活習慣病の指標として代表的。近年では、DNAやRNAに関連した指標の発見も相次いでいる。

## まだ研究が始まったばかりだけど、新たな可能性が見えてきそうなんだって。

研究によって、AGEsがからだに与える影響が分かってきた(上図)。製薬会社や化粧品・食品会社などのさまざまな研究機関で、糖化や老化を防ぐ技術や成分の開発をめざして、AGEsの研究が積極的に行われている。

AGEsによって疾病が起こるメカニズムやAGEsを分解するメカニズムは、まだまだわからないことだらけだけど、これからどんどん解明されていけば、さまざまな疾病治療の可能性も見えてくるかもしれない。



## コスモ・バイオは、抗糖化研究用試薬の開発・販売を積極的に行っています。

数百種類におよぶと言われるAGEsのなかで、  
CMAに着目

CMAは、コラーゲンに特異的につくられるAGEです。肌の老化の要因となるほか、糖尿病や骨粗しょう症の患者にはCMAが健常者と比べて顕著に多いことが分かっています。

CMAの生成を阻害する成分をスクリーニングできるキットは世界初です(2014年8月現在)。

### 抗糖化研究キットシリーズ

アルブミン抗糖化アッセイキット

コラーゲン抗糖化アッセイキット(グルコース/フルクトース)

コラーゲン抗糖化アッセイキット(グリセルアルデヒド)

▶ コラーゲンAGEs抗糖化アッセイキット(CMA特異的)

コラーゲンAGEs抗糖化アッセイキット(CML特異的)

RAGE反応性AGEs生成阻害アッセイキット

世界で  
はじめて

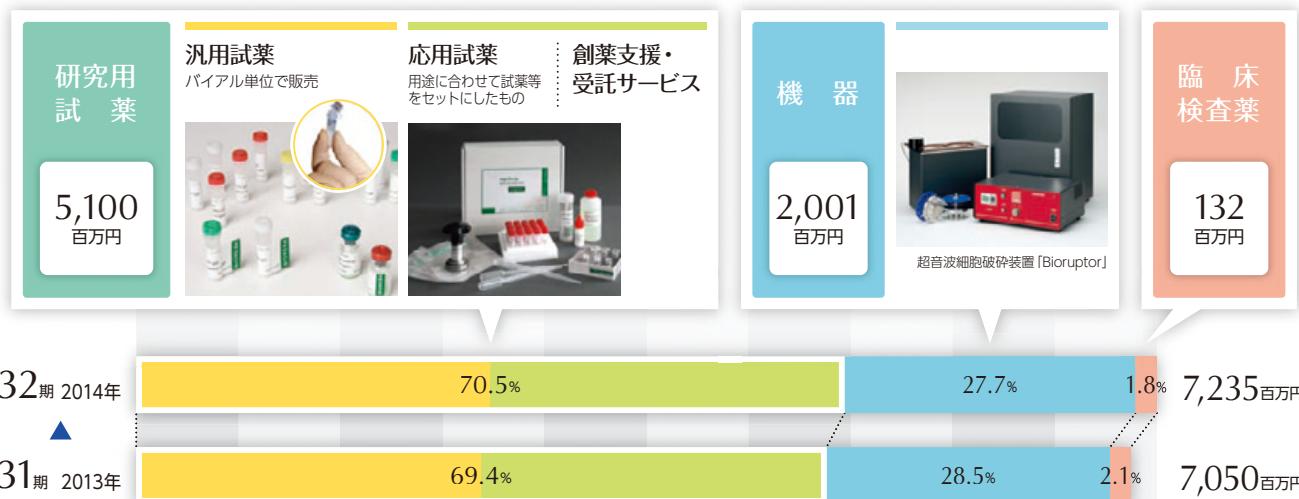
これらの製品は、臨床研究のほか、くすりや食品、化粧品開発など幅広い業界や分野でご活用いただいています。



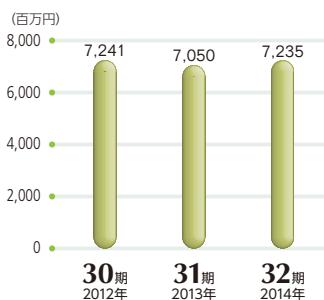
コラーゲンAGEs抗糖化アッセイキット  
(CMA特異的)

# 業績・財務のご報告（連結）

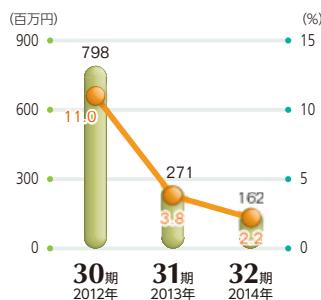
## 商品分類別連結売上高



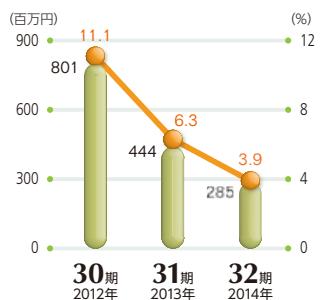
### 売上高



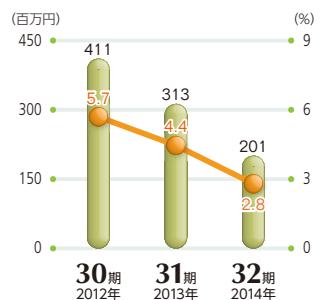
### 営業利益／営業利益率



### 経常利益／経常利益率



### 当期純利益／当期純利益率



### 営業の概況

ライフサイエンス研究関連の試薬・機器市場の動きは全体的に活発でなく、特に大学、公的研究機関においては、近年の慎重な予算執行の傾向が続きました。また、同業他社との販売競争も激しさを増しています。

こうした厳しい状況下、商品の充実、情報の発信、納期

の改善等、顧客の信頼度向上を図ることに取り組んだ結果、抗体や細胞・培養関連の試薬を中心に売上を伸ばし、売上高は前期比2.6%増となりました。利益面では、円安傾向を受けて仕入れコストが上昇し、営業利益は同40.2%減となりました。

## ▶ 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	前期 2013年12月31日現在	当期 2014年12月31日現在
流動資産	5,527	5,234
固定資産	2,750	2,927
<b>資産合計</b>	<b>8,277</b>	<b>8,161</b>
流動負債	818	1,130
固定負債	660	497
<b>負債合計</b>	<b>1,479</b>	<b>1,628</b>
株主資本	5,386	5,469
その他の包括利益累計額	924	579
少数株主持分	486	482
<b>純資産合計</b>	<b>6,797</b>	<b>6,532</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,277</b>	<b>8,161</b>

## ▶ 連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

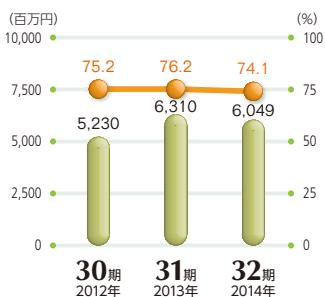
	前期 2013年1月1日~ 2013年12月31日	当期 2014年1月1日~ 2014年12月31日
売上高	7,050	7,235
売上総利益	2,620	2,424
営業利益	271	162
経常利益	444	285
<b>当期純利益</b>	<b>313</b>	<b>201</b>

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

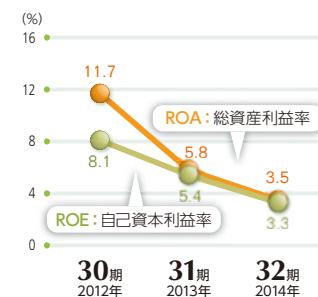
(単位:百万円)

	前期 2013年1月1日~ 2013年12月31日	当期 2014年1月1日~ 2014年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 99	△ 227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 126	△ 122
現金及び現金同等物の期末残高	1,435	1,383

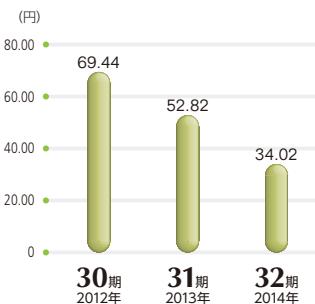
### 自己資本/自己資本比率



### ROA / ROE



### 1株当たり当期純利益



### 1株当たり配当金



(注) 2013年1月1日付にて、当社普通株式1株を100株に分割したことに伴い、1株当たり当期純利益を適及修正しております (当該株式分割が第30期の期首に行われたと仮定して算定)。

## 株主還元

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要事項の一つと認識しております。当社の株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、安定配当を行っていくことを念頭に置き、配当性向を重視しつつ、今後の収益状況の見通しなどを総合的に勘案して決定すべきものと考

えております。

当期の配当は前期と同様に、1株当たり中間配当8円、期末配当12円、年間配当20円とさせていただきます。この結果、連結配当性向は58.8%となっております。

## トピックス

### Topics 1 「個人投資家向け 会社説明会（船橋）」 を開催

2014年11月に、大和証券船橋支店において会社説明会を行いました。



▶ 当社ウェブにて、説明会の資料およびQ&Aがご覧いただけます。

ホーム > IR情報 > 個人投資家向け会社説明会

<http://www.cosmobio.co.jp/ir/individual/>

### Topics 2 世界最大規模の 合成生物学の大会「iGEM」に参加した、 国内9チームを支援



iGEMとは、「The International Genetically Engineered Machine Competition」の略で、大学生を主体とした合成生物学の国際大会、いわば生物版「ロボコン」です。遺伝子組換え技術を駆使して細胞の機能を再プログラムし、ロボットのように自在に操るアイデアを競います。

2014年10月、アメリカ・ボストンのマサチューセッツ工科大学にて、iGEM2014世界大会が開催されました。出場した日本チームのうち、9チームを当社が支援。その全チームが、各分野で金・銀・銅いずれかのメダルを獲得されました。なかでも東京工業大学のチームは、Information Processing部門にて最優秀賞に輝きました。

Information Processing部門で最優秀賞を受賞した東京工業大学チーム



### Topics 3 毎年恒例の 「公開講座応援団」 を実施

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています。2014年度は、8団体の公開講座に協賛しました。



福島大学わくわくJr.カレッジ  
サイエンス屋台村



2014年度に  
開催された  
講座の一例

### 表紙について



地球上には無数の命と無限の可能性があります。私たちコスモ・バイオは、この命の神秘を解き明かすライフサイエンスを支援することで、人と科学のステキな未来を創造していきます。今回の表紙は、色とりどりの線の流れとそこに重なる円に多様な命のイメージを重ね、ライフサイエンスの大きな可能性を表現しています。

### Topics 4 2016年1月からの新基幹システム稼働に向けた 取り組みを展開中 ～さらなる顧客満足度の向上を目指して～

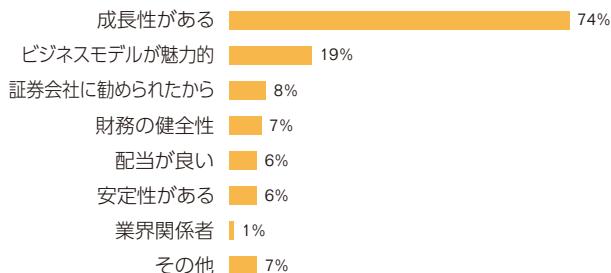
新基幹システムでは、膨大な商品群と製品情報をリアルタイムに把握できるハイパフォーマンスな製品[SAP® Business Suite Powered by SAP HANA]を採用。これにより、さらなる顧客満足度の向上、競争力強化を目指します。

## 株主様アンケートのご報告

アンケート結果の詳細は、当社ウェブに掲載しています ▶ <http://www.cosmobio.co.jp/ir/report2015/>

第32期第2四半期株主通信において、第3回目となる株主様アンケートを実施させていただいた結果、425名の株主様よりご回答をいただくことができました(回答率6.8%)。皆様の貴重なご意見を参考にさせていただきながら、今後のIR活動の一層の充実と、積極的な経営による成長の持続を図ってまいります。

### ▶ 当社株式の保有理由(複数回答あり)



### ▶ 株主の皆様のお声の一部

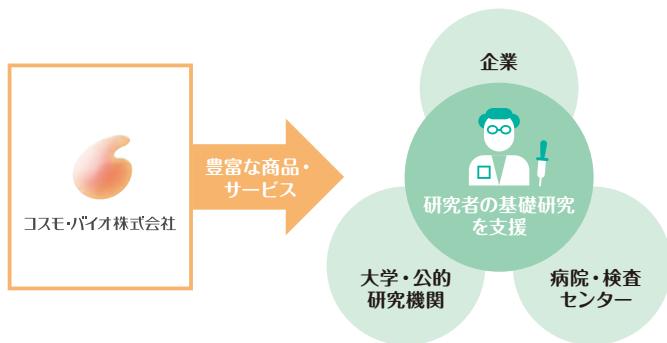
- 安定した営業基盤をベースに、適度に成長分野への種まきをしてほしい
- iPS細胞関連事業に注目し、事業領域を拡大してほしい
- 積極的に事業展開をしてほしい
- 今後の事業の成長性に期待している
- 腸内フローラに関する特集は興味深かった
- 株主アンケートを通じて、より株主とのコミュニケーションを図ってほしい
- 株価の上昇と安定を期待している
- 会社の将来性に期待している
- 業界のリーディングカンパニーとしての活躍を期待している

## 株主の皆様のご質問にお答えします

**Q** コスモ・バイオはどんな薬を開発しているのですか。

**A** コスモ・バイオは薬の開発はしていません。薬の開発をしている製薬企業やベンチャー企業などに、開発のための基礎研究に使う試薬を販売することで、薬ができるのを支援しています。

薬の開発以外にも、医療や健康の基礎研究や、資源、食糧、環境、エネルギーなど、いろいろな分野のライフサイエンス研究者が当社の試薬を使っています。多様なニーズに応えるため、商品を仕入れて販売するだけでなく、自社でも試薬を作っています。



## 会社概要

(2014年12月31日現在)

商号 コスモ・バイオ株式会社  
 設立 1983年8月25日  
 所在地 〒135-0016  
 東京都江東区東陽二丁目2番20号 東陽駅前ビル  
 資本金 918百万円  
 事業内容 ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、  
 臨床検査薬の仕入れ(一部自社製造)及び国内・海外販売  
 従業員数 連結:125名 個別:92名

## 役員

(2015年3月25日現在)

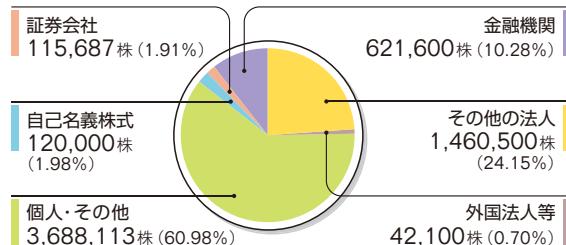
代表取締役社長 笠松 敏明  
 専務取締役 櫻井 治久  
 取締役 世良 伸也  
 取締役 牧 与志幸  
 取締役 島村 和也\*  
 常勤監査役 中野 重則\*  
 監査役 佐々木 治雄\*  
 監査役 深見 克俊\* ※は社外役員

## 株式の状況

(2014年12月31日現在)

発行可能株式総数.....18,361,600株  
 発行済株式の総数  
 (自己株式120,000株を含む).....6,048,000株  
 株主数.....6,030名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
東京中小企業投資育成株式会社	1,152,000	19.43
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託		
コスモ石油 再信託受託者	576,000	9.72
資産管理サービス信託銀行株式会社		
コスモ・バイオ従業員持株会	206,600	3.49
田中 知	148,000	2.50
高木 勇次	148,000	2.50
原田 正憲	114,500	1.93
株式会社ヤクルト本社	100,400	1.69
新日本空調株式会社	89,600	1.51
鈴木 由美子	82,300	1.39
太田 由喜夫	76,100	1.28

(注) 議決権比率は、自己株式120,000株を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 定時株主総会 毎年3月開催 同お問い合わせ先 同証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 基準日 12月31日 公告方法 Tel. 0120-232-711  
 剰余金の 6月30日、12月31日 電子公告 <http://www.cosmobio.co.jp/>  
 配当の基準日 (ただし、電子公告によることができない事故その他 やむを得ない事由が生じた場合は、東京都において 発行する日本経済新聞に掲載して行います。)  
 単元株式数 100株 上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ スタンダード  
 証券コード 3386



株式に関するお問い合わせ先 ▶ 住所変更等、株式に関する手続き・お問い合わせは、お取引の証券会社へお願いいたします。



人と科学のステキな未来へ  
**コスモ・バイオ株式会社**

〒135-0016  
 東京都江東区東陽二丁目2番20号 東陽駅前ビル  
 Tel. 03-5632-9600 Fax. 03-5632-9613